

社会人としての文章能力 新卒内定者に課題あり64%※

企業における「採用予定者（新卒）に求める文章能力に関する意識調査」
356社中308社が重要視 228社が新卒に課題あり 115社では文章能力を採用の参考指標に※

※ 公益財団法人 日本漢字能力検定協会 調べ

公益財団法人 日本漢字能力検定協会（本部：京都市下京区／代表理事：高坂節三）は、昨今の、社会生活におけるコミュニケーション力や論理的思考力が重視される傾向が高まっている状況をうけ、2015年4月から2015年6月にかけて、東証一部上場企業1,862社に対し、企業における「採用予定者（新卒）に求める文章能力に関する意識調査」を行い、そのうち356社からご回答をいただきました。このたび、その調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

弊協会は今後とも、社会生活に必要な日本語・漢字の能力を高め、広く日本語・漢字に対する尊重の念と認識を高めるために、調査・研究の活動を行っていきます。

【調査概要】

対象：東証一部上場企業 1,862社 （2015年1月時点での企業情報に基づく）

期間：2015年4月～2015年6月

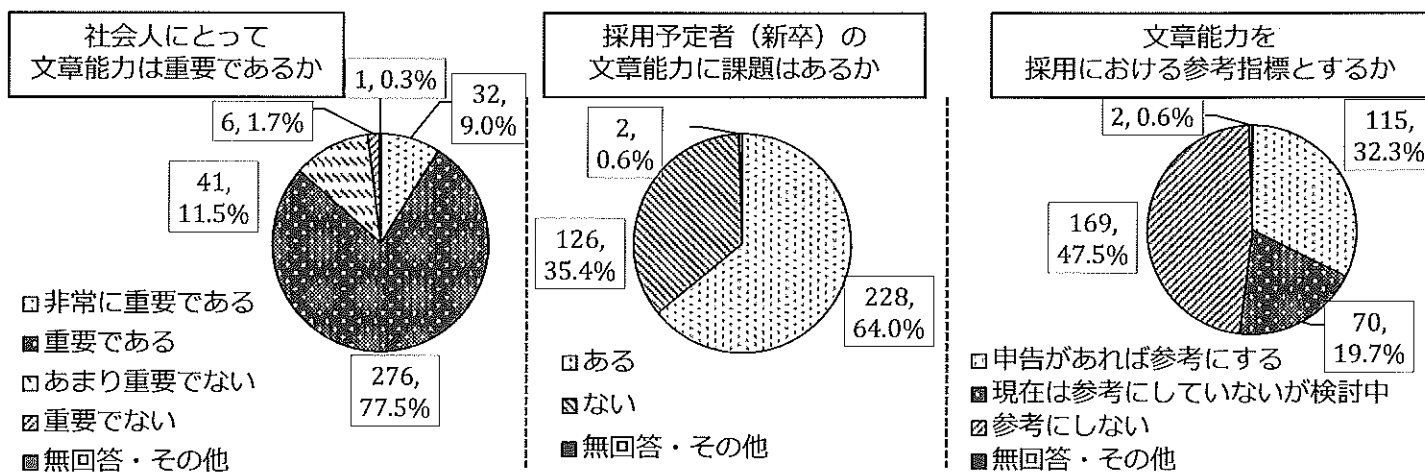
内容：採用予定者（新卒）に求める文章能力に関する意識調査

方法：郵送・電話によるアンケート協力依頼、郵送・FAX・メールによるアンケート票送付返信方式

有効回答数：356社

【調査結果まとめ】

- ・ 356社中308社が、文章能力に関して「重要である」と回答した。
- ・ 356社中228社が、採用予定者（新卒）の文章能力について「課題がある」と回答した。
- ・ 356社中115社が、文章能力を「採用における参考指標としている」と回答した。



グラフの数値は、「回答数（単位：社）、割合（単位：%）」で記載。小数点第2位を四捨五入

《本件に関する報道関係の方々のお問い合わせ先》

日本語・漢字を学ぶ楽しさを提供し、豊かな社会の実現に貢献します。

公益財団法人 日本漢字能力検定協会 <http://www.kanken.or.jp/>

P R担当：時田（普及部 普及企画チーム）

TEL：03-6385-8740（固定）090-2109-9089（携帯）MAIL：n-tokita@kanken.or.jp（PC）